

事務事業名	市単独農業施設等整備事業	整理番号	41106-060
所管	農林課 農林土木スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 47年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策	4-1 魅力ある農林業の振興	関連政策
	政策	4-1-1 農業の振興	

**事務事業の内容**

目的 (何のために)	農道及び農業用排水路等の新設・改修工事を実施し、用水の確保や施設整備を図る。
対象 (誰・何を)	受益面積 1 ha以上10ha未満、受益戸数 2 戸以上。
手段 (どのようなやり方で)	各地区からの要望を精査し、緊急性や必要性の高い農業用排水路等の農業用施設を順次整備する。
成果 (どのような状態にしたいか)	道・水路等農業用施設整備がなされ、必要水量と排水機能が確保され、農作物の安定した生産が出来る。
事務事業の背景・住民の意向	各地区からの要望は、年間60件程度ある。過去の未処理が相当数あり対応が厳しい、浄化センター関連の条件事業としての要望が相当多い。
見直し改善の経過	浄化センター関連の要望については下水道課と調整をしている、その他の要望については依然として厳しい状況。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	<p>投入コスト(千円)</p> <table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18年度</td> <td>75,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>19年度</td> <td>90,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>20年度</td> <td>65,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	18年度	75,000	10,000	19年度	90,000	10,000	20年度	65,000	10,000
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
18年度	75,000		10,000											
19年度	90,000		10,000											
20年度	65,000	10,000												
平成18年度	沼田区内農業用排水路改修ほか													
平成19年度	沼田区内農業用排水路改修ほか													
平成20年度	萩蕪区内農業用排水路改修ほか													

**評価指標**

<p>施設整備1件当たりコスト(千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コスト(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	コスト(千円)	H18	2,200	H19	1,800	H20	1,400	H0目標	1,000	<p>施設整備件数(件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H0目標</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	H18	35	H19	48	H20	45	H0目標	60	
年度	コスト(千円)																					
H18	2,200																					
H19	1,800																					
H20	1,400																					
H0目標	1,000																					
年度	件数																					
H18	35																					
H19	48																					
H20	45																					
H0目標	60																					

**事務事業の評価**

担当部署の評価		コメント	今後の方向性 <b>継続</b>
観点別評価	必要性	各地区からの要望が多く、農業用水路及び取水堰等の農業用施設の維持、保全に必要な事業である。市民ニーズに比較して、実施量が少ないが、限られた予算の中で緊急性、重要度により順次進める。	
	有効性		
総合評価	<b>B</b>		

**改革プラン**

平成21年度からの対応	予算に限度があるので、緊急性の高いものから対応する。
平成22年度以降の対応	同上
改革により予想される成果	予算の範囲内であっても、最小限で最大効果になるように検討し推進する。

**事務仕分けの結果**

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	地元の要望を考慮し、当面は緊急修繕で対応する。
仕分け理由	
事業量の削減及び延伸により、経費縮減を図る。	